

ディープフリーザーによるワクチン保管で温度ロガーを使用される皆さまへ

ディープフリーザー(SC-DF25WL)へ付属する **G-TAG TempView** は Bluetooth 通信でスマートフォンから操作できる温度ロガーです。ボタン操作ひとつで温度ロガー本体の LED により温度逸脱の有無を簡単に確認することができます。ディープフリーザーの内部温度管理の方法についてご説明いたします。

1. 準備 ～ワクチンの保管を開始する前に～

①温度ロガーの設置

- ・温度ロガーはディープフリーザーへマジックテープで取り付けることができます。
- ・ケーブルをディープフリーザーの蓋の裏側から通して庫内に挿入してください。

②ディープフリーザーの予冷

- ・ディープフリーザーを-20°C設定で 2 時間以上の予冷を行ってください。

③温度ロガーの動作確認

- ・使用するスマートフォンへ App Store /Google Play から専用アプリ **TH View** をインストールしておいてください。
- ・専用アプリで温度ロガーとスマートフォンを接続し、各操作に問題が無いことと、予冷された庫内の温度が-25～-15°Cの範囲に入っていることを確認してください。
⇒ 温度ロガー **G-TAG TempView** と専用アプリ **TH View** の操作方法については、www.g-tag.jp にある「使い方ガイド」「操作説明動画」からご確認ください。



G-TAG TempView
使い方ガイド・操作説明動画

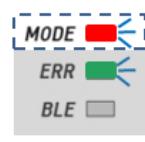
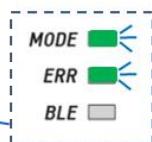
2. ワクチン保管温度管理の運用について (1)測定開始～(3)測定終了を 1 週間程度の周期で行うことを推奨します。

(1) 測定開始

- ・専用アプリ **TH View** で温度ロガー **G-TAG TempView** とスマートフォンを接続し、設定内容を確認のうえ、測定を開始した後、温度ロガー本体のボタンを 1 回押してください。
⇒ **MODE** と **ERR** の LED が緑色に点灯していれば正常に測定をしています。
⇒ **MODE** の LED が赤色に点灯している場合は測定を開始できません。測定開始手順をやり直してください。



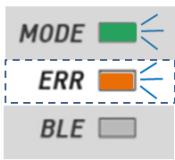
温度測定時の LED 点灯状態(MODE、ERR とも緑色)



温度測定開始前の LED 点灯状態(MODE が赤色)

(2) 温度逸脱の確認 ※ワクチン保管時は毎日定期的に必ず実施してください

- ・温度ロガーのボタンを 1 回押して LED の表示を確認します。
⇒ **ERR** の LED がオレンジ色（橙色）に点灯した時は、設定した温度閾値から外れた温度逸脱が温度エラーとして温度ロガーに記録されています。速やかに測定ログを取得し、レポートを確認してください。



※その他の異常について

ERR の LED が赤色に点灯の場合は速やかに電池を交換してください。

BLE の LED が赤色に点灯の場合は温度ロガーが異常動作中のため、問合せ窓口へご連絡ください。

温度逸脱があった場合の LED 点灯状態(ERR がオレンジ(橙)色)

(3) 測定終了

- ・専用アプリで温度ロガーと接続し、ログ取得後にレポートを作成して測定期間中のデータを確認してください。
データ確認後、測定を終了して、温度ロガーのログを消去してください。
※次の測定を連続して行う場合、測定開始の手順に戻り、再度測定を開始してください。温度ロガーには最大10,000データ記録することができますが、**上限の10,000データに到達すると、測定が自動で停止されます**（標準設定時、約34日分）。
確実な温度管理のため、1週間程度の周期でログ消去を行うことを推奨します。

3. お問合せ窓口について

受付時間：9：00～18：00（土日・祝日、および弊社休業日は除く）

神栄テクノロジー株式会社 温度ロガー問合せ窓口

電話番号：078-304-6795

URL : <https://www.g-tag.jp> ※G-TAG TempView で検索